

沖電気は自社製品に使用する材料や部品が購入品の大半を占めていることから、これらのグリーン調達に注力し、製品の環境負荷低減に取り組んでいます。購入品の主な環境負荷として次のものがあります。

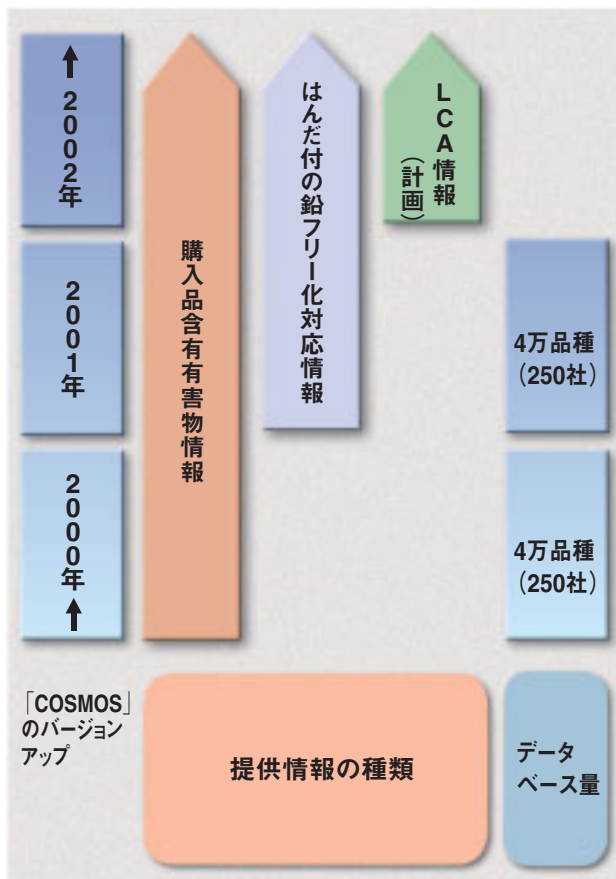
- (1) 購入品製造時のエネルギー消費によるCO₂発生、廃棄物排出、環境影響化学物質の排出
- (2) 購入電子部品などの電力消費によるCO₂発生
- (3) 廃棄時の有害物質流出

これらの購入品に係る環境負荷を低減するため、沖電気では次の取り組みを行っています。

有害物質/集計システム運用

部品や材料に含まれ環境への影響の恐れがある環境影響化学物質を低減するため、有害物管理/集計システム(社内名称: COSMOS)を構築しました。

本システムは、社内ネットワークや設計ツールと連動していて、各拠点の設計者は、本システムの情報をもとに環境に配慮した部品や材料を選択し製品を設計します。「COSMOS」のデータベースは毎年質、量ともバージョンアップしています。



購入先評価

購入材料や部品製造時の環境負荷は沖電気製品の環境負荷でもあります。この環境負荷を低減するため、「購入先評価」を行います。下記は半導体事業部の購入先評価フローです。購入先の順法状況、環境活動状況などを確認し、必要な場合は改善要求や現地確認を行います。

